

紙 面 紹 介

- 1頁 母校の全容
- 2頁 会長・前郡西会長挨拶
- 3頁 学校長あいさつ・北工現勢
- 4頁 桃見台・八山田の現況
- 5頁 大槻・定時制の現況
- 6頁 郡北工の歴史と卒業生
- 7頁 事務局便り・予算
- 8頁 同窓会規約・総会案内

福島県立郡山北工業高等学校

復刻版

同窓会報

発行所
〒963 福島県郡山市桃見台15-1
福島県立郡山北工業高等学校同窓会
電話 郡山 (0249) 32-1577
発行者 渡 辺 達 英
編集代表 高 野 和 雄
写真撮影 宮 部 正 吉
発行部数 5,000部

会 員

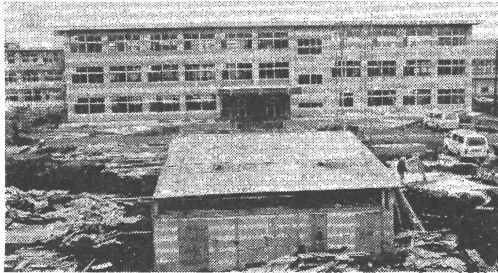
郡工・郡西
郡山北工高
一万三百人

まもなく列島一の校舎建設

太平洋戦争も敗色が濃いくろ「国家総動員法」に基づき、郡山商業学校が転換されて、郡山工業学校(五年制)として発足したのが一九四四年四月。当時の進学率は僅か十数%で、郡山市の旧制中、旧制高女は、安積五、安女五、郡工三、郡女三、郡山二高女二学級合せて一学年十八学級。今日は二十七万都市郡山に十二高校県立五十九、私立四十七学級合せて百六学級。定員は四千五百八十人。進学率九〇%へ。

資本による「高度経済成長」が本格化し、「新産都市、常磐・郡山」スタートの年一九六三年、「郡山西工」発足(六学級)。以来両校からの輩出、九千八百人。かれらは廃墟の一九四七年経済から高成長を経、七七年「列島経済・冬景色」に至るまで奮闘し、「栄光や前進」を飾った。

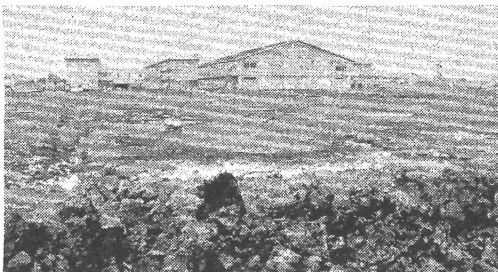
全国六十番都市「郡山に普通高校を」の世論や運動



は七一年から激烈化し、「腰の重い県政」は、漸く七七年、郡西跡に「郡山高」を新設し、八山田というかつて住宅団地予定地に難航の末、郡山北工がスタート。あす、初の卒業生五百三十九人。

一九七八年三月一日の卒業式で同窓生は郡工六千六百二十九人、郡西三千七百七十九人

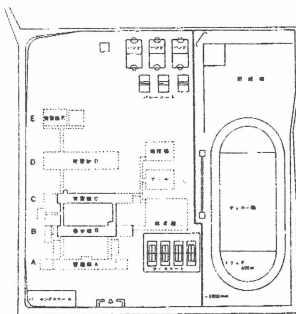
写真は未来の母校の一部



(上) 南玄関前 (中) 東方より (下) 西方より撮影



施設配地



十二人、郡北五百三十九人、合計一万三百四十人ナリ。ことし桃見台(機・建・化・定)、八山田(電・情)、大槻(機・化)に分れていた校舎も一年後の今ごろは「完全統合」が成り、「列島随一」の「工高」となるという。

なお今春、本校の定員は機械百二十、電気八十、電子四十、化工八十、建築四十、情報四十、定時制八十計四百八十。

第一回の卒業式は写真(中)の講堂で行われます。

★新刊 書籍・雑誌・教科書
辞典・参考書・文庫 etc.

(有)松文堂書店

堂前店 郡山市堂前町(如宝寺前) ☎322362
さくら通り店 郡山市清水台(八幡プラザ) 1F ☎221735

トッププレーヤーのためのスポーツショップ

美津濃. あんたか. adidas. puma. カナイ. モクちゃん.
(R) アメリカン, フットボール総代理店

クタナマスポーツ

店 舗 郡山市駅前2-6-3 ☎223650(代)
営業・商品センター 郡山市富田町字町畑19 ☎510666(代)

今こそ工業教育の振興

兄弟校の統合を機に



同窓会長

渡辺 達英

郡山工業高校同窓会の発足は昭和二十五年、郡山西工業高校同窓会は昭和四十二年に創立し、それぞれ北工業高校の開校にともない両校同窓会の活動は終止され、郡山北工業高校同窓会として大きく成長することになった。

思えば昭和三十八年郡山西工設立の時、郡山工業高校と合併の予定で、大規模地の敷地一万五千坪を、二万坪として買収したが、郡工側の反対にあつて見送っている。この時から両校の合併の灯は消えないで残っていたのだらう。両校同窓生にとつて決して喜ばしいことではないが、両工設立にあつて郡工に設立準備室があり、第一回の入学試

験及び入学式を郡工で行っている、全く関係のないわけではない。いってみれば兄弟校といつても良いだらう。その両校同窓会役員によつて昨年十二月十八日、駅前福豆屋会館に於て郡山北工業高校同窓会を結成した。これは既に両校同窓会総会に於て規約案と合併についての議決がなされているので、設立総会は経費の面を考へて役員総会となつたわけである。この間にも両校同窓会役員により合併のための話し合いがもたれ、それぞれの合意の上で今回の新同窓会の創立をみたのである。郡工同窓生六千数百名、西工同窓生三千数百名、両校合わせて一万余名の同窓会になり、これからの会の運営にも大きな影響があるものと思われるが何とかのり切つて組織の確立に努めたい。これから両校の伝統と歴史の上に立つて、新同窓会の歴史を

築いて行かねばならない。いまや東北一とも、日本一とも云える施設と設備もつた、新しい母校が生まれつつある。一日も早くその完成をみて、完全な学校教育が出来ることを望んでいる。三万坪の敷地に並んでいる校舎と、広々と広大な校地を見るにつけ感ひとおのである。

去る二月五日北工同窓会東京支部総会が行われ、旧両校同窓生約百名が出席し盛会のうちに終了した。各支部や職場に於ても、早期に友好の輪を広げ新しい組織を作ることを望んでいる。

北工と共

奮起の秋



前郡西同窓会長

今泉 顕喜

亡き父を偲ぶことしにかける。十一月八日夜九時過ぎ帰宅、一日の仕事を生うしてもうクタクタ、ダウンの前、近所の奥さん(両親の御指南子)が父の百カ日を

る。今日、日本の経済成長は高率を望めない。低い状態がしばらく続くと思われる。この様な時期に於ては特に工業教育の必要性を重くみるべきである。実技を身につけ、応用のきく人間を形成することである。普通高校にはないスキップの出来る教育は重要である。この低速経済の中でお互い融和し助け合い、旧両校同窓生、新卒業生三者一体となつて新しい母校と同窓会を作り、文字通りの日本一の工業高校に育てて行こう。

忘れていたとかで焼香に来ていた。その奥様の息子が北工のことしの卒業生。思えば入学式の時、私がいさつた為学校に行くと言う事で私の車に乗せて行った親子である。あの日あの壇上で私は何を言ったのか私自身うろおぼえであるが、この親子は良くおぼえている事がある。一つは母校の

伝統を維持する事、二つは親を大切にすること、三つは人に迷惑をかける事。この二つ目に対してこの奥様は自身父親を失くして、親孝行したい時には親はなしと良く言ったものでしょうと云つてきてくれた。この奥様は幼い時両親を失くして口には言えない苦勞をし嫁ぎ、子をもうけ、家を立て、人生を歩んで来たと言ふ。私見したいな両親四十才の末っ子、甘えん坊には到底考えられなかつた事である。口では後輩に親を大切にしろと言つて来たが、私自身父を失くして末っ子の長男坊としてひしひしと父のありがたみを感じている。今までは活動出来ない父をだしにしていやなこととはことわり、全う出来ない事は父のせいにして時間をとれたが、現在はそんな余裕がまつたくない。四人の子持として、私の真備を問われるのはことしからである、四十九年、道路拡張により新築、五十二年増築、六十坪の家になる。支払えは、一ヵ月十万円強。益々がんばらなくちゃ。父の死にめげず。

最近の気持を川柳に

金々と追われし日々

幸き有り

コクヨアルバム

- 台紙が手軽にドンドンふやせる……ジョイナーアルバム
- お二人の門出を飾る……〈婚礼用〉アルバム
- お子様の成長記録を大切に……〈子供用〉アルバム
- 赤ちゃんの〈誕生〉から……〈誕生〉アルバム
- 整理が手軽なポケットタイプ……ポケットアルバム
- 思い出がふえたら……補充用台紙



家庭からオフィスまでの事務用品

有限会社 渡 達

代表取締役 渡辺達英 (24年度卒 機械科)

郡山市麓山1-16-28 ☎22-1159

新しい革袋には

学校長 佐久間 俊 忍



郡山北工業高校新同窓会が機関誌の創刊号を発刊されますことを心からお喜び申し上げます。皆様方の永年にわたるご協力のおかげでようやく、昭和五十二年四月一日付をもちまして本校が新設されることになりました。今のご苦労に對し、あらためて厚くお礼を申しあげますと共に、「新しい革袋には新しい酒を」の教えに従い、旧来のろう習を打ち破り、新生「郡山北工」の名に恥じない新しい校風と伝統を樹立したいと思っております。

さて、私共が新設校のためにはまず最初に手がけましたことは、郡山北工の新しい門出にふさわしい「校訓」として「校章」と「校旗」として「校歌」の制定を早くみることであります。

「校訓」は、本校の教育目標から選り「調和・創造・特色」と致しました。また「校章」と「校歌」は、全校教職員生徒から公募し「校章」については、電子科三年の伊藤信一君のデザインを、また「校歌」については、安西金造先生の作詩を、選定委員会が選定しこれをそれぞれ「校章」「校歌」として制定致しました。また「校旗」は、県教育委員会の格別のおかげで、本県教育史上、初めてのことでありますが、県費で作成して頂きました。こうして、多くの方々のご協力を頂きながら学校運営の基礎が固まったわけですから。

次本校の現状について申し上げます。

本校は只今、桃見台校舎(機械・工化・建築・生徒数八百八名(内定時制三百七名)教職員五十二名)と、八山田校舎(電気・電子・情技・生徒数四百八十八名・教職員四十二名)並びに大槻校舎(機械・化工・生徒数四百十六名、教職員数三十四名)の三校舎に分けて授業を行なっておりますが、昭和五十三年度末までには、全生徒が八山田校舎に集合する予定であります。従って、昭和五十四年度からは、全日制学科(機械・電気・電子・情報技術・化学工学・建築)定時制二学科(機械・電気)、生徒数は全日制千二百名、定時制三百二十名の、日本でも有数の大規模工業高等学校に成長します。

新設校の校地は、九万三千平方メートルあり、約三分の二が管理棟、実験実習棟、教室棟、体育館、格技場、プール、弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、

バレーコート、合宿施設更衣室、部室にあてられ、残り三分の一が、野球場、サッカー場、四百メートルトラックにあてられます。

特に体育館は、文部省基準の最高床面積(千四百二十平方メートル)をもち、その広いこと、大きいこと驚くばかりです。また、野球場も、両翼九十二メートル以上とることができ、立派な球場になります。

設備は、旧郡山、旧西工の実験、実習設備の外に、新たに、電子計算機二台等を導入し技術指導に完璧を期しております。

この外、実習室の採光のために、ブロックガラスをふんだんに使ったり、各工場の構造では、他の工業高校にみられないアイデアが採用されたり、誠に近代的工業高校が誕生致したわけですから。

さて、北に秀峰安達太良の山なみを眺め、東に阿武隈の流れを見おろすすばらしい教育環境と、全てに整備された学習の場を、郡山北工生は県民から与えられたわけですが、私はいつも大きいことだけが良きこととは思っておりません。その中で営まれる教育の質が問題だと考えております。

私共は、校訓のとおり、

「調和のとれた人間」「創造力のある豊かな人間」「特色ある人間」の育成を目指し、全教職員、生徒がはげむことこそが、新生「郡山北工」の使命であり、県民の期待にこたえる途としております。

今回、郡山北工同窓会の新発足に当って、本校の現状を伝え、会員各位のご協力をお願いする次第です。最後に、「新しい革袋には、新しい酒を」を祈念し、新同窓会のみますますのご発展を期待いたします。

郡山北現勢

一九七七・四・一

校舎	校地等	生徒	教職員
桃見台(本部)	九三、〇〇〇	一、四〇五	二八
八山田・大槻	三三、〇〇〇	三〇七	三一
三校舎に分離	四、七〇五		
	運動場(m ²)		
	校舎(m ²)		



冷暖房・空気調和設備・冷凍・冷蔵設備
給排水衛生設備・設計・施工

東北空調工業株式会社

代表取締役 岡崎初美 (28年度機械科卒)

本社 郡山市富久山町久保田字我妻84番地5
〒963 TEL 22-4540 (代表)



◎作業服・制服・白衣 製造◎

福島県郡山市清水台二丁目5番3号

株式会社 浜津被服

代表取締役社長 浜津平一

TEL (32) 2631



川柳で綴る開校一年

桃見台校舎・教頭 関根 健一

○校旗様お着き粗相はあるまいなこの価格、金四十万円也。

○開校式・入学式挙行(四月八・九日)

○呉越船「調和」の風に帆を孕み

○精兵の暁に発つ晴れの式校訓「調和・創造・特色」

○花かつみ、槻の木固く手を握り

○草木みななびく開校おけさ節

○北工機四発エンジン全開

○郡山高校と合同で開校記念式典が挙行され、来賓・職員・生徒二千名が参列、まさに壮観であった。肅然たる両校校旗の入場、佐久間校長の式辞も一段と音吐朗々。記念演奏もまたすばらしいでき。一点非の打ち所ない立派な式典であったとある来賓からおほめを戴いた。ちなみに郡山高校の校章は槻(けやき類)の葉である。

○校長先生大多忙(毎日)

○ここかしこ牛若丸も舌を

○開校へあと百日のネジを巻く

○北の風両校旗挙げたまま

○あたかも戦争に突入したかの観あり。郡山北工業高校と校名決定。

○佐久間初代校長着任・開校(四月一日)

○開校へ桃も桜も梅も咲き

○六つ子が生まれてパパは大多忙

○めでたく着任・開校となった。三校舎に加えるに定時制、郡山高校、また技能連携の国鉄学園とまさに三校舎五現業。校長先生は大

○隊長機宙天返し我追けす
○校長思うにこれは自分の足でない
校長先生の大多忙は開校のときに始ったことは前記のとおり。校舎ごとに学校行事や諸会議もある。勿論その間出張等もあり東奔西走、南船北馬、八面六臂などの語では表されないほどの大多忙・大活躍である。



八山田校舎の現況

八山田校舎・教頭 松本 紹夫

このほか多くの出来事がありました。困難をのりこえて、母校は着々と発展の道を進んでおりますので同窓生の皆さんにはご安心ください。
最後に発展を祈願して一句
旭に輝く新校舎
○安達太良は羨むように校舎を見

以上

昭和五十二年四月全国にもめずらしい統合新設という型で郡山北工業高等学校が発足しました。昭和五十四年度には郡山北工は八山田に全部移転して一本化されることになりましたが、現在は年次計画により建設が行なわれて約六〇％が完成いたしました。五十二年四月の発足当初は十万平方米の敷地に三階建の教室棟と実習棟それぞれ一棟ずつが建設され、校庭も運動場も整地され、雨が降ると通学に難渋しました。あき時

間などを利用して職員、生徒が協力して大型ダンブ四十台分の砂利を入れて校庭

の一部分や自転車置場などを整備しました。

六月中旬から第二期工事が始まり事務室、校長室、図書室など管理棟及び情報技術科・化学工学科などの実習棟と体育館の工事が開始されました。体育館は冬期の授業に間に合うように特に急ピッチで工事が進められ、十二月末に学校へ引渡されました。管理棟や実習棟も昨年は雨が少なくまた暖冬のお陰で工事も予定よりはかどって三月初旬には引渡し運びとなりました。

体育館は床面積は旧郡山体育館の約二倍で内部設備も全部整った近代的名物です。また新設された情報技術科には約六千万円の予算で小型電算機が導入さ

れます。

一方グラウンドは五十三年高校総体のサッカー競技場となる予定で三千六百万円を投じてコート二面を造成中です。八月の総体終了後は野球場と四百メートルトラックを持つ陸上競技場に模様替えをしたいと思います。

現在八山田校舎には電気科、電子科、情報技術科の一、二、三年生四百八十三名が学習に励んでおりますが五十三年度は桃見台校舎から工業化学科三年生、大槻校舎から化学工学科の一年から三年生までを移転させ、十九学級七百八十名となる予定で各校舎で引越や受入れの準備をしております。

学校への通学路もグラウンド東側までは、市当局で今年度中に舗装してくださる予定です。現在工事中です。また周囲の道路についてもPTAや地域の方々や市当局や議会方面に一日も早く整備していただくよう働きかけてくださっております。

今後の課題は何と云っても学習環境の整備です。広大な敷地の緑化、運動施設設備の整備、通学路の安全確保等について五十三年度から計画して、学力の向上と立派な社会人の育成に努力する考えです。

<p>美しい写真・美しい仕上</p> <h2>みすず写真店</h2> <p>郡山市中町5番23号 TEL (22) 6456</p>	<p>ダイハツ福島代理店</p> <h2>降矢輪業商会</h2> <p>降矢光夫(機7期)</p> <p>郡山市芳賀三丁目1の2 電話(44)3934</p>
--	---

大槻校舎・郡山高校の現況

大槻校舎・郡山高教頭

丹野 稔



二月五日に北工同窓会東京支部総会が開催され、同窓会の統合もすべて完了し、来る三月一日には、いよいよ郡山北工第一回卒業生を同窓会にむかえられます。皆様とともに心からお祝いを申しあげます。今年度は北工は三校舎に分かれて開校しましたが、大槻校舎は旧西工の校舎を使用し、同時に開校された郡山高校と同居することになりました。大槻校舎は教職員三十二名、生徒数は機械科百六十七名、化学工学科二百四十九名計四百六十六名、郡山高校は、教職員二十五名、生徒数三百八十五名で発足しました。職員は相互に両校を兼務することとなり、授業運営、部活動、学校行事など生徒会を除いてはすべて調和を旨とし、一本化を運営の基本方針として、(一)調和のとれた生徒の育成(二)部活動、クラブ活動の円滑化(三)学力の向上、技術の

た。とくにサッカー部は、県大会の新人戦において優勝し、五三全国高校総体の強化チームとして指定を受け、二月十日から静岡遠征を実施しました。また陸上では、長沼政美(八山田校舎)が中距離の強化選手に指定され、三月末には、全国陸上春季選手合宿に参加する予定です。これら各部の活躍が大いに期待されます。

さて、大槻校舎三年の一月末の進路状況をお知らせします。機械科在籍八十三名、内訳(進学八、就職六十五名(県内二十七、県外三十八)、自営三、未定七)化工科在籍七十九名、内訳(進学八、就職六十五(県内三十三、県外三十二)、未定六)という状況です。今年度は不況の影響がとくに多く、大企業の求人が減り、さらに三校舎に分かれたため各校舎とも進路指導には、非常に苦勞をさしました。つきに部活動の状況ですが、大槻校舎では、主として、サッカー、ハンドボール、陸上、バドミントンの活動校舎となりまし

た。とくにサッカー部は、県大会の新人戦において優勝し、五三全国高校総体の強化チームとして指定を受け、二月十日から静岡遠征を実施しました。また陸上では、長沼政美(八山田校舎)が中距離の強化選手に指定され、三月末には、全国陸上春季選手合宿に参加する予定です。これら各部の活躍が大いに期待されます。



定時制の現況

教 頭 岩越 銀三

す。なお郡山高校は、ひきつづき、旧西工の校舎を使用することにしています。長年にわたる旧西工関係者の方々に対し、深甚なる感謝の意を表すべく、郡山北工の新体育館に綴帳を寄贈することにいたしました。両校の今後の益々の発展を祈つてやみません。

最初に、ごあいさつを申し上げます。定時制教頭として昭和五十二年度に福島県立南会津高等学校から赴任しました。これまで大部分、普通科系の高校を経験して来ましたので、工業高校は諸事情に暗く、この意味におきましても何かと不行き届きの事が多いことをごいしますが、宜しくご教導くださいますようお願い申し上げます。

本校定時制は郡山北工業高等学校第一回生として六十三名の卒業生を出します。機械科、電気科建設科であ

本校定時制は郡山北工業高等学校の併設校として、働きながら学ぶ青少年のために、鋭意その使命を果すべく努力しております。五十三年度迄は今まで通り桃見台校舎にありますが、それ以後は新築の八山田校舎に完全に移転することになります。施設、設備の完備した新しい学び舎にあって生徒諸君は一層の自覚と誇りをもって勉学に励むものと考えております。おかげ様で本校定時制は三百余の生徒をようし、技

能連携校、通信制教育の協力校として多様な形態をとり、定時制、通信制の役割を果してきました。スポーツ面におきましては、この多様性をいかんなく発揮して五十二年度にあつては、すべての運動クラブが県南大会に優勝、更に県大会にあつても卓球、軟式庭球、バレーボール、バスケットボールの四種目を制覇、個人種目に於ても軟式庭球、卓球、柔道で入賞しました。更にこの年に行なわれた全国定時制体育大会に県代表として出場、全国から選ばれた定時制代表と対戦、活躍し大きな戦績をあげたのであります。

今や社会情勢の変化に伴い、定通教育も変革期を迎えました。全日制、普通科志向が高まり、必然的に定時制への志願者を減少させています。しかし定時制教育に従事する私どもにとつては、働きながら学ぼうとする勤労青少年のニーズに答えることの必要性を益々感じているものであります。「定時制のともし火を消すな」の相言葉のもとに、頑張っております。今後共、同窓生の皆さんの一層のご協力、ご援助をお願いいたします。

土木建築請負・埋立整地・宅地造成
県知事登録番号(40)2876号

株式会社 **渡辺建材**

代表取締役 **渡辺新三郎** (24年度機械科卒)

郡山市桑野一丁目17-9 ☎ 22-7459

今日のスタミナ源、味とボリュームの弁当

給食弁当・仕出し 寿司・おにぎり・オードブルetc

……ご予算に応じて調整いたします……

ホクト一食品

郡山市下亀田4-8 TEL 22-0166

郡北工・その歴史(抄)

年度		通		要		年度は西暦						
区分	校史	卒業生	同窓会	機械	建築	電気	電子	工業	建設	産業	年数	
	44郡北工業学校 46郡山南学校 47郡山工業学校 48郡山工業学校 54福島県立郡山工業高等学校 61臨時発足 63工業高等学校 68福島県立郡山工業高等学校 69東北鉄道学園(提携) 72移動新築業公費 77郡工・郡西(統合) 78北工業高等学校	46中学 49高校		○	50○	56○	59○	61○	62○	63○	65○	34
				10,340人						31		
										28		
旧郡工	全	機械	44	→							桃見台校舎	
	日	建築	50	→							八山田校舎	
	制	電気	56	→							大槻校舎	
		電子	59	→							桃見台校舎	
		工業	61	→							大槻校舎	
		機械	62	→							八山田校舎	
		電気	63	→							大槻校舎	
旧郡西	定	建設	65	→							大槻校舎	
	時	産業	59	→							大槻校舎	
	制	機械	63	→							八山田校舎	
	電気	63	→							大槻校舎		
	化工	63	→							大槻校舎		

卒業生とそのころの状況

年度は西暦、カッコ内は昭和

区分	卒業生			できごと		流行語		
	郡	工	計	郡山	国内			
44(9)				東京の児童熱海に疎開	学徒動員	鬼畜米英		
45(0)				米軍の爆撃	敗軍主義教育禁止	4等ゲール		
46				陸軍兵舎、県営寮に足	6・3・3・4学制	斜陽		
47	(72)		(72)	郡山に6県立高校	新制高校発足	冷たい戦		
48	6(11)		6(16)	郡山工野球県大会優勝	松川列車転覆事件	竹馬		
49	35		35					
50(2)	57		57	郡山女子短期大学開校	朝鮮戦争勃発	特需景		
51	103		103	日大東北工業高校開校	桑港体制に入る	逆コ		
52	91		91	開成山競馬場成る	血のメーデー事件	ヤンキー・ゴ・ホーム		
53	87		87	保安隊大槻駐	新制国立大・初の卒業式	ハロ		
54	94		94	富田村合	ビキニで福電丸被災	ロマンス・グレイ		
55(0)	138		138	大槻町合併	立川基地拡張反対闘争	太陽		
56	152		152	片倉製糸操業停止	教育委員官選法成立	億総白痴		
57	142		142	郡山女大附属高校発成	道徳教育強固	ラッ		
58	158		158	市民会館完成	勤務評定反対闘争	戦後		
59	204		204	新4号国道舗装	岩戸景	なが		
60(5)	204	6	210	百万都市建設の気運	安保条約改訂闘争	所得倍増		
61	263	3	266	安積商業高校発足	中学生学力テスト	レジャー		
62	264	0	264	コパル精密(株)操業	テレビ受信者1000万	人ハ		
63	238	0	238	郡山西工業高校発足	高校急増対策開始	ハッ		
64	297	25	322	日本女子工業高校発足	東京五輪・新幹線	根		
65(0)	303	39	342	郡山市、12町村を合併	高校進学率70%	期待される人間像		
66	286	52	338	日本パオキ(株)操業	ベトナム反戦統一スト	いいじゃな一族		
67	292	58	350	山水・タクト電機操業	美濃部革新都政	フーテン		
68	293	74	367	新庁舎、朝日一丁目	GNP、米ソに都	大衆団		
69	262	61	323	警光ホテル大火	東大安田講堂事件	やったぜ・ベビー		
70(5)	252	59	311	下水道終末処理場操業	人口1億370万人	ヘドロン		
71	269	51	320	郡山・奈良姉妹都市	公害病深刻化	ディスカバー・ジャパン		
72	259	79	338	経済都市郡山、福島を抜く	日中国交回復	三角大福		
73	247	74	321	地価高騰	中東戦争による石油危機	ユックリズ		
74	235	61	296	電話5万台	マイナス経済成長	アルコロジー		
75(0)	242	66	308	東北自動車道郡山・白石開通	高校進学率92%	チカレタビー		
76	236	77	315	郡山西工野球県大会準優勝	ロックード事件	記憶にございません		
計	5,842	787	6,629	3,172	9,801			
77(2)	郡	山	北	工	53.9	郡山に革新市政	円高不況・ドシャ降り輸出	日本列島冬景色

事務局から報告

初の同窓会総会

郡山工業高等学校と郡山西工業高等学校とが合併し、郡山北工業高等学校となり、従って同窓会も合併し郡山北工業高等学校同窓会になるよう両校同窓会役員との協力により十二月十八日(日)午後三時より駅前「福豆屋」

三階で郡山北工業高等学校同窓会の発会式を同窓生四十名出席して開催いたしました。その主な内容は両校の同窓会役員を長く協力いたした方に、郡山北工業高等学校長より表彰がありました。表彰者は次の通り

郡山同窓会の残金二十三万四千五百八円と郡山同窓会の残金四拾万円を予算案を組んだ旨説明し、承認を得た。次に郡山北工業高等学校同窓会規約について協議し、発効月日を昭和五十二年十二月十八日より施行

郡工・郡西表彰者33名

Table with 6 columns: Position, Name, Age, Position, Name, Age. Lists 33 members including 会長, 副会長, 支部長, 監査, 事務局長, 同次長, 常任幹事.

(注) 前段・郡工, 後段・郡西工

する事に決定した。最後に役員の改選が行なわれ、同窓会より三名づつの選考委員が出て選考し総会で承認された役員は次の通りです。

以上を通り決定しました。続いて恒例の懇親会が盛大に行なわれた。

- 新入会員 五三九名
(全日制)
機械 一六二名
建築 四二名
電気 一五五名
電子 三九名
化工 三九名
(定時制)
機械 二五名
電気 二〇名
建設 一八名
総計 一〇、三四〇名

昭和五十二年度 同窓会予算

Table with 2 columns: Category (e.g., 収入, 支出) and Amount. Includes items like 旧郡工残額, 雑収入, 雑費, 雑計.



川鉄テーパースチール指定工場

(有)保三工業

代表取締役 橋本保三

郡山市田村町上行合字西川原8 TEL (0249) 44-3213

カメラと写真の店

PHOTO まつみ

本店 郡山市長者(安女高東) ☎代23-0646

同窓会規約

第一章 総則

第一条 本会は福島県立郡山北工業高等学校同窓会と称し、本会の本部事務局は、県立郡山北工業高等学校(以下母校と称す)内におく。

- 二、名誉会員は母校の現旧校長とする。
- 三、特別会員は母校の現旧教職員とする。

第三章 役員

第五条 本会に次の役員をおく。

第二条 本会は会員の親睦を図り互助の事業を行ない、母校教育の振興発展に努め、わが国の工業発展に寄与することを目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するため、次の事業を行なう。

- 一、母校の発展と会員の相互扶助に関する事業。
- 二、会議、会員名簿、その他図書印刷物の刊行。
- 三、その他目的達成に必要な事業。

第二章 会員

第四条 会員を分けて普通会員、名誉会員、特別会員とする。

一、普通会員は県立郡山工業高等学校、県立郡山北工業高等学校、県立郡山北工業高等学校の出身者とする。

七、事務局次長は、事務局長を助け庶務を分担する。

第七条 本会の役員は、次の方法によって選出し、その任期は二年とする。但し再任を妨げない。

- 一、会長、副会長、監事

第二回

同窓会総会通知

本校同窓会が発足して、ことしは第二回目を迎えます。会員も一万人を突破し、いよいよ発展と隆盛が期待されています。

そこで、ことしも例年通り、「緑の季節」に左記により、第二回総会を開催することにいたしました。多くの皆さんが参集されますよう、紙上をもつて御案内申し上げます。

記

①日時 五月七日(日) 午後一時

②場所 郡山市中町 ビュー・ホテル

③会費 二千元 (現在建設中)

二月二十八日

郡山北工高同窓会長

編集部より

本規約は、昭和五十二年十二月十八日より施行する。

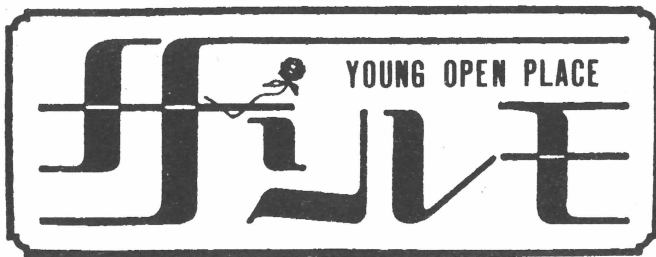
は、総会に於て選出する。

二、常任幹事、幹事、事務局長は会長が委嘱する。

郡山市開成三丁目8番4号

村上設計事務所

代表取締役 村上 信昇
取締役 村上 昇



ビュー・ホテル 5月オープン

郡山市中町3番7号
電話 32-2140(代)

設計監理

佐藤実建築設計事務所

一級建築士 佐藤 実 (33年度卒業建築科)

郡山市麓山一丁目7-18 ヤマトビル3F
TEL 33-3894

写植・タイプ・オフセット印刷

(有) ヤシマ孔房

〒963 郡山市菜根3-6-14 ☎(0249)22-3533(代)